

昭島市地域コミュニティ活動連携推進計画(素案)に係るパブリックコメントの結果について

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	件数	市の考え方
1	P13	市民アンケート調査から見えてくる現状とニーズ	市民アンケート調査が実施されての問題・分析は全体に反映されていて評価出来ますが、アンケート数647は各分野への努力はあるものの更に広げて意見を求みたい。 「素案」で整理され、よせられた意見を含め、問題意識を共有にしてめざすべき地域コミュニティ作りに協力したいと思います。	1 件	引き続き、様々な機会を通して市民の声や地域の意見を聴きながら、地域コミュニティ活動の連携を図って参ります。
2	P25	コーディネーターを担う人材の発掘と研修などの実施	コーディネートの発掘と育成をぜひお願いします。とても重要なポジションです。 (同様の意見 他 1 件)	2 件	コーディネーターの存在は大変重要と認識いたしております。発掘と育成について関係部署と連携を図りながら取組を進めて参ります。
3	P26	「地区防災計画」の策定	本計画は地域コミュニティ活動に防災・減災を取り込み「地区防災計画」の策定を通じて全体を活性化することを目的としていると理解した。 自治会に入るメリットについていろいろ議論があるが、目前のメリットを求めるのではなく、防災・減災といった全員に共通する課題を改めて目標とすることは、能登半島地震、南海トラフ地震など、懸念すべき現像が起きている現在意識のあることと思う。 しかし、問題点として ① 日常的に防災訓練などを行っている主体にとっては、新しい切り口での防災・減災でなければ関心を持たれず、失敗に終わる可能性がある。 ② 「地区防災計画」を作成することだけが目的ではなく、その過程でいろいろな訓練を実地して、検証して完成度を上げることが必要である。 ③ 「地区防災計画」のメンバーには既製の主体に属していない人も入れるべきである。ただし、発掘方法が問題。また、老若男女を問わず片寄のないメンバー構成とすべきである。 避難所運営委員会についての記載が全くないが報告をすべきである。初期にかかわっていたが退任後、全く情報が来なくなつた。	1 件	ご意見のとおり、地域コミュニティ活動連携推進計画において、地区防災計画を作成することが目的ではありません。地区防災計画とは、一定の地区内において、居住者や事業者が行う自発的な防災活動について定める計画です。計画の作成・実施を通して、地域の多様な主体の連携が図れるよう、作成にかかる相談や訓練の方法などについて市として支援してまいります。 避難所運営委員会については、ご意見を踏まえ、「地域の多様な主体の紹介と現状」の中に、追記いたします。
4	P26	公共施設（市立会館や学校など）のあり方の検討	市立会館の定期的・安定使用の保障。サロン活動をすすめるには、開催日時が固定しないと、広報にも難あり。まして、子ども食堂ならなおさら。	1 件	ご意見の趣旨は理解いたしますが、多くの団体が市立会館の利用を希望しており、特定の団体の利用の保障は難しい状況です。貴重なご意見として、関係部署と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	P26	自治会館など民間施設の活用の検討	民間施設なら利用時の助成も検討ください。	1 件	貴重なご意見として今後の施策の参考とさせていただきます。
6			自治会館の開放…「子ども食堂」でも使えるようにする!! サロン活動や社会教育団体に登録している団体・サークルが利用できる（しやすい）ように。使用料半額にするなど。 <理由>会員外でも市の補助金がでているので税金は使われている。市民だれもが使用しても良いのではないか。	1 件	現在、市内には 7 団体の「子ども食堂」があり、市では運営費の一部補助を行っています。半数の団体が自治会館や集合住宅の集会所を使用しており、使用料がかかる場合は、子ども食堂推進事業補助金を活用し対応が図られています。 サロン活動をはじめ様々な団体等会員以外の自治会館の活用につきましては、自治会の会則や活動状況など自治会の意見を踏まえて検討して参ります。

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	件数	市の考え方
7	P27	計画の推進体制	地域コミュニティ活動連携推進委員会には一般企業の参画もアプローチしてください。活動の継続のためにも補助金に頼らず運営する視点も大切です。コミュニティビジネスに繋がる可能性があります。その辺りのアドバイスがあると良いと思います。 最後に庁内部署横断の委員会の設置とあります。大変嬉しく思います。どうぞ宜しくお願ひします。	1 件	着実な計画の推進を図るため、推進体制が重要であり、多角的に計画の進捗を確認する必要があります。推進委員会につきましては、ご意見も踏まえ、企業等の参画も検討して参ります。
8			推進委員会の規模はどの程度を考えておられるのですか。明確にしてほしい。	1 件	令和7年度以降、地域コミュニティ活動連携に向けた取組を進める中で、より効果的な推進委員会となるよう、構成委員の検討をして参ります。
9	P21～26	その他	P21.22の現状と課題のまとめ P23の地域活動の有機的な連携促進するための3つの柱 P24つながって豊かになる地域コミュニティの整理方向と P25～26の具体的な提起は、いろいろな角度から更に深める必要があると思います。 ☆防災・減災問題は地域コミュニティ作りの大きなテーマである事は確かですが、市の基本構想や都市計画マスタープランにも市民の協力・共同で作り上げてきた大事な到達点があります。 ☆昭島の水と緑を守り、住み続けられる住み続けたいまちづくりの為にも、今、市で大きな問題の物流データ・センター問題など、大事なテーマが、地域のコミュニティ作りに市が情報や問題点、まちづくりの視点を市民に全面的に知らせ、対応・意見を求めるよびかけなど具体的・身近なさせました課題にも問い合わせ、市民参加のまちづくりを意識的に作る事が大事だと思います。	1 件	ご意見にありましたとおり、地域には様々な課題があり、その解決には地域を支える市民の皆さまの力が必要不可欠です。 日々、変化する生活の中で、安全・安心に生活し、住みやすいまちづくりについて市民の認識を高めていけるよう関係機関・団体や関係部署との連携を図りながら、地域コミュニティづくりに努めて参ります。
10	その他		この計画は市が行うという提言の様です。活動を行う方々にしか響かない気がします。もっと市民が主体性を持ってまちに関わらないといけない時代だと思います。協働を進める事は素晴らしい事ですが、中間支援組織や商店会など各先の役割というものを明確にした方が良いと思います。そのためには計画ではなく条例を設ける必要があるかも知れません。計画名など公募し、より自分ごと感じる工夫も検討ください。	1 件	本計画は地域活動を行っている方や行政だけで推進できるものではなく、市民一人一人が地域づくりの担い手として取り組んでいただくことを目指すものです。 各施策を進める中で、各々の役割について認識や理解を深めていただけるよう取り組んで参ります。 条例の設置や計画名の公募につきましては、貴重なご意見として、本計画の変更や改訂時において参考とさせていただきます。